

日中韓FTAかTPPか？国際共同研究ワークショップ

主催：愛知大学国際中国学研究センター 共催：北京大学中国経済研究センター

日時：2012年7月14日（土） 9:00～18:00

場所：愛知大学名古屋校舎厚生棟3階 W32 会議室

使用言語：日本語・中国語・英語（日本語通訳あり） 定員：50名 要申込 聴講無料

【趣旨説明・基調講演 9:00-9:50】

TAKAHASHI Goro 高橋五郎（愛知大学国際中国学研究センター所長・教授）

“The Barriers and Solutions for Integration of ASEAN+3' FTA and TPP”

「ASEAN+3 の FTA と TPP の融合—障害とその解決の道—」

【基調講演 9:50-10:40】

YAO Yang 姚洋（北京大学中国経済研究センター長・愛知大学ICCS 訪問教授）

“Economic Complementarities and Integration of China, Japan and Korea”

“中日韓三国経済的互补和融合” / 「中日韓三カ国経済の補完性と経済統合の可能性」

休憩（10:40～10:50）

【研究報告 I 10:50-11:40】

ITAKURA Ken 板倉健（名古屋市立大学経済学部准教授）

“Welfare and Structural Adjustment Implications of Asian Track and Trans-Pacific Track Sequencings of FTAs”

「アジアと環太平洋地域の FTA 順序による経済厚生と産業調整への含意」

【研究報告 II 11:40-12:30】

LI Xin 李昕（北京大学国家発展研究院研究員・北京師範大学助理教授）

“The Effect of China, Japan and S.Korea FTA in the Next Decade - An Investigation of a Recursive Dynamic CGE Analysis”

“中日韓 FTA—基于动态可计算一般均衡的模拟” / 「中日韓 FTA—CGE モデルによるシミュレーション分析—」

昼休み（12:30～13:30）

【研究報告 III 13:30-14:20】

YU Miaojie 余淼杰（北京大学中国経済研究センター副教授・愛知大学ICCS 客員研究員）

“Export Intensity and Input Trade Costs: Firm-Level Evidences from China”

“中国制造业企业出口强度与中间品贸易成本” / 「中国製造企業の輸出志向と中間財貿易コスト」

【研究報告 IV 14:20-15:10】

OSAWA Masaharu 大澤正治（愛知大学経済学部教授）

“Energy Policy and Economic Policy: The Case of Japan in 2012”

「エネルギー政策と経済政策のバランス—2012年の日本のケース—」

【研究報告 V 15:10-16:00】

PARK Jong-keun 朴鐘根（ソウル大学工学部教授・愛知大学ICCS 客員研究員）

“Electric Policy and its Issues: The Case of Korea” / 「韓国電力政策の現状と課題（仮題）」

休憩（16:00～16:20）

【全体討論 16:20-18:00】

高橋五郎、姚洋、板倉健、李昕、余淼杰、大澤正治、朴鐘根

司会：李 春利（愛知大学経済学部教授） 阿部 宏忠（愛知大学現代中国学部准教授）

■申込方法：氏名（フリガナ）、所属、住所、電話、E-mail アドレスをご記入の上、EメールまたはFAXでお申込みください。お申込みいただいた後、こちらからご連絡いたします。※先着順のため、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。お問い合わせ TEL052-564-6120（9時-17時）

■申込締切：7月12日（木） ■申込先：愛知大学国際中国学研究センター 〒453-8777 名古屋市中村区平池町4-60-6 FAX 052-564-6220
E-mail iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp アクセス <http://www.aichi-u.ac.jp/profile/06.html>（名古屋駅から徒歩12分、あおなみ線ささしまライブ駅から2分）